

		事務事業No.		18-	1
事業名	社会教育諸経費	会計 一般	款 10	項 5	目 1
政 策	6 人生を豊かにするために	課名	社会教育課		
施 策	6-2 青少年の健全育成	係名	生涯学習係		

1 事務事業の目的・内容

事業 目的	対象	町内の青少年	目的（対象がどのような状態になっているか）	青少年育成町民会議の活動を通じ、青少年の非行を防止し健全育成を図る。
事業 内容	青少年の健全育成を図るため、町青少年育成町民会議を主体として、学校、家庭、地域などが一体となって取り組む体制を確立し、青少年のまちづくり活動等への参画促進や地域全体での育成支援を推進する。 また、二十歳を迎えた記念として、社会の仲間入りを自覚する機会を提供するため、二十歳を迎えた当事者が実行委員会委員となって二十歳を祝う会を開催する。 ・青少年育成町民会議の主な活動 町内啓発活動、夜間パトロール、ありがとうの花を咲かせよう推進、町民歩け歩こう会、指導員会議、校区活動			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位	目標方向	令和7年度（目標）
	1 二十歳を祝う会に参加した人数の割合	76.2	80.9	76.6	%	↑	80
	2						
	3						
	4						
	5						
			令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（予算）
全体事業費（千円）			8,387		3,460		3,763
財源 内訳	うち一般財源		5,887		3,460		3,763

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善＜※主管課長記入＞

（1）事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	B町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適正である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	Ⅲ 要改善（少しでも事業内容に改善の余地があり取り組むべき）					

（2）事務事業の業務改善について

①R6年度の改善計画	青少年育成町民会議事業の効率化と効果的な組織形態等を協議検討する。	③取組の課題	青少年育成会議内での情報共有と各地元への伝達と事業の見直し。
②R6年度に実施した取り組み	あいさつ運動を通じて青少年の健全育成を担う取り組みを城山小学校、稲部小学校、笹尾東小学校、またヴィアティン三重と協力し実施。歩け歩こう会は2回企画し、子どもたちを含め多くの町民に参加いただいた。また、正しいスマートフォンの使い方講座を東員第二中学校の一年生を対象に開催した。その他「二十歳を祝う会」では、実行委員を中心とした会を開催した。	④今後の改善計画	青少年育成町民会議事業の効率化と適正な組織形態、運営等を改めて協議し今後の方向性について共通認識を得る。